

(第1面)

特別管理産業廃棄物処理計画書

2022 年 5 月 日

兵庫県知事 殿

提出者 松本 徳生

住所 兵庫県伊丹市昆陽1丁目1-1

氏名 藤岡 英明

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 072-771-2400

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	ASブレーキシステムズ株式会社 伊丹製作所
事業場の所在地	兵庫県伊丹市昆陽北1丁目1-1
計画期間	2021年4月1日～2022年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	3199 他に分類されない輸送用機械器具製造業
②事業の規模	売上 549億円(2021年度)
③従業員数	1500名
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項	別紙4参照
(管理体制図)	

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項	別紙2参照	
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油、強酸、廃酸、強アルカリ、汚泥
	排出量	363.9 t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	廃油、強酸、廃酸、強アルカリ、汚泥
	排出量	345.7 t
	(今後実施する予定の取組)	

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項	別紙2参照
①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃酸は非常槽で管理、汚泥は専用容器（ドラム缶）にて分別管理
②計画	(今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

別紙2参照

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	実績なし	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	なし	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

別紙2参照

①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	実績なし	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	なし	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項		別紙2参照	
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	実績なし	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類	なし	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項		別紙2参照	
①現状	【前年度（令和 3年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;"> 廃油、強酸、廃酸、強アルカリ、汚泥 </div>	
	全処理委託量	363.9 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		廃油、強酸、廃酸、強アルカリ、汚泥
	全処理委託量	345.7 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
(今後実施する予定の取組)			
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度（令和 年度実績）		
	特別管理産業廃棄物排出量 (ホリ塩化ヒフェニル廃棄物を除く。)	363.87	t
	(今後実施する予定の取組) 電子マニフェスト導入済み		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の特別管理産業廃棄物の発生量が50トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる特別管理産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、埋立処分した量を記入すること。なお、中間処理を行うことにより特別管理産業廃棄物に該当しなくなった産業廃棄物を海洋投入処分するときは、その量も含めて記入すること。
- 6 「特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、特別管理産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の14第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 7 「電子情報処理組織の使用に関する事項」の欄には、前年度の特別管理産業廃棄物の全発生量（ポリ塩化ビフェニル廃棄物（令第2条の4第5号イからハまでに掲げるものをいう。）を除く。）を記入すること。その量が50トン以上の者にあつては、今後の電子情報処理組織の使用に関する取組等（情報処理センターへの登録が困難な場合として廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行規則第8条の31の4に該当するときは、その旨及び理由を含む。）について記入すること。
- 8 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、特別管理産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。
- 9 ※欄は記入しないこと。

別紙1(廃棄物処理法-特別管理産業廃棄物処理計画書)

現状：前年度(令和3年度)実績量

計画：今年度(令和4年度)計画量

単位:トン/年

特別管理産業廃棄物の種類	排出抑制に関する事項		自ら行う再生利用に関する事項		自ら行う中間処理に関する事項				自ら行う埋立処分等に関する事項		処理委託に関する事項									
	排出量 (前年度実績値の①)		自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量 (前年度実績値の②+⑧)		自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑤)		自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量 (前年度実績値の⑦)		自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う特別管理産業廃棄物の量 (前年度実績値の③+⑨)		全処理委託量 (前年度実績値の⑩)		優良認定処理業者への処理委託量 (前年度実績値の⑪)		再生利用業者への処理委託量 (前年度実績値の⑫)		認定熱回収業者への処理委託量 (前年度実績値の⑬)		認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量 (前年度実績値の⑭)	
	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画	現状	計画
7000 引火性廃油																				
7010 引火性廃油(有害)																				
7100 強酸	285.7		0	0	0	0	0	0	0	0	285.7	0	285.7	0	285.7	0	0	0	0	0
7110 強酸(有害)	5.7		0	0	0	0	0	0	0	0	5.7	0	5.7	0	5.7	0	0	0	0	0
7200 強アルカリ	35.1		0	0	0	0	0	0	0	0	35.1	0	35.1	0	35.1	0	0	0	0	0
7210 強アルカリ(有害)																				
7300 感染性廃棄物																				
7411 廃PCB等																				
7412 PCB汚染物																				
7413 PCB処理物																				
7421 廃石綿等(飛散性)																				
7422 指定下水汚泥																				
7423 鉱さい(有害)																				
7424 燃えがら(有害)																				
7425 廃油(有害)	10.4		0	0	0	0	0	0	0	0	10.4	0	10.4	0	10.4	0	0	0	0	0
7426 汚泥(有害)	6.0		0	0	0	0	0	0	0	0	6.0	0	6.0	0	6.0	0	0	0	0	0
7427 廃酸(有害)	8.0		0	0	0	0	0	0	0	0	8.0	0	8.0	0	8.0	0	0	0	0	0
7428 廃アルカリ(有害)	13.1		0	0	0	0	0	0	0	0	13.1	0	13.1	0	13.1	0	0	0	0	0
7429 ばいじん(有害)																				
合計	363.9	0	0	0	0	0	0	0	0	0	363.87	0	363.87	0	363.87	0	0	0	0	0

別紙2 (廃棄物処理法-特別管理産業廃棄物処理計画書)

1 当該事業場において行っている事業に関する事項

①事業の種類	3199 他に分類されない輸送用機械器具製造業
②事業の規模	売上 549億 (2021年度)
③従業員数	1500人
④特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙3参照

2 特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図等, 別紙を参照)

別紙4参照

3 特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 廃酸の自工程処理
②計画	(今後実施する予定の取組) メッキ装置 廃塩酸処理量低減 ⇨ 定量を酸洗槽から水洗槽へ吐出

4 特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 廃酸は非常槽で管理、汚泥は専用容器 (ドラム缶) にて分別管理
②計画	(今後, 分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 同上

5 自ら行う特別産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 弊社では、処理できない
②計画	(今後実施する予定の取組)

6 自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 弊社では、処理できない
②計画	(今後実施する予定の取組)

7 自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 弊社では、処理できない
②計画	(今後実施する予定の取組)

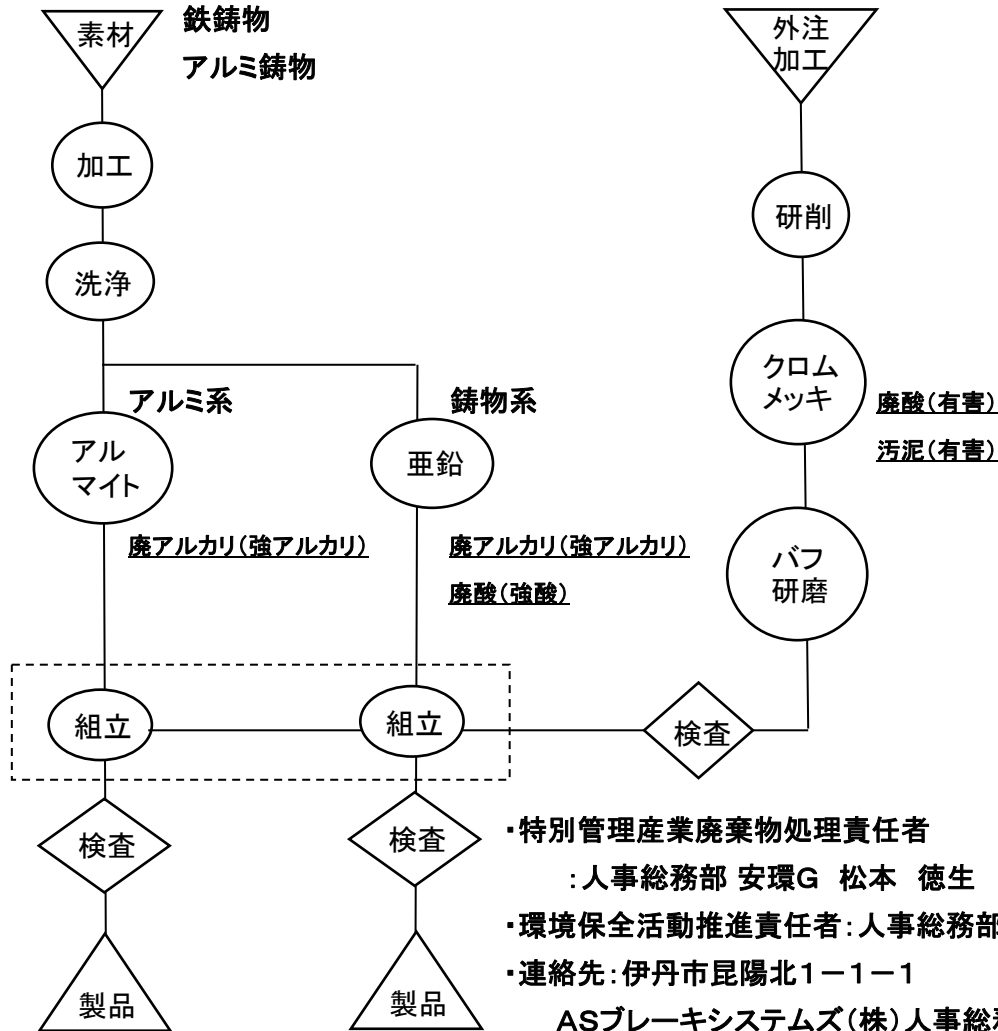
8 特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	(これまでに実施した取組) 廃酸、廃アル、汚泥は処理委託している
②計画	(今後実施する予定の取組)

ASブレーキシステムズ(株)伊丹製作所(特管産廃発生工程)

ブレーキ製造工程

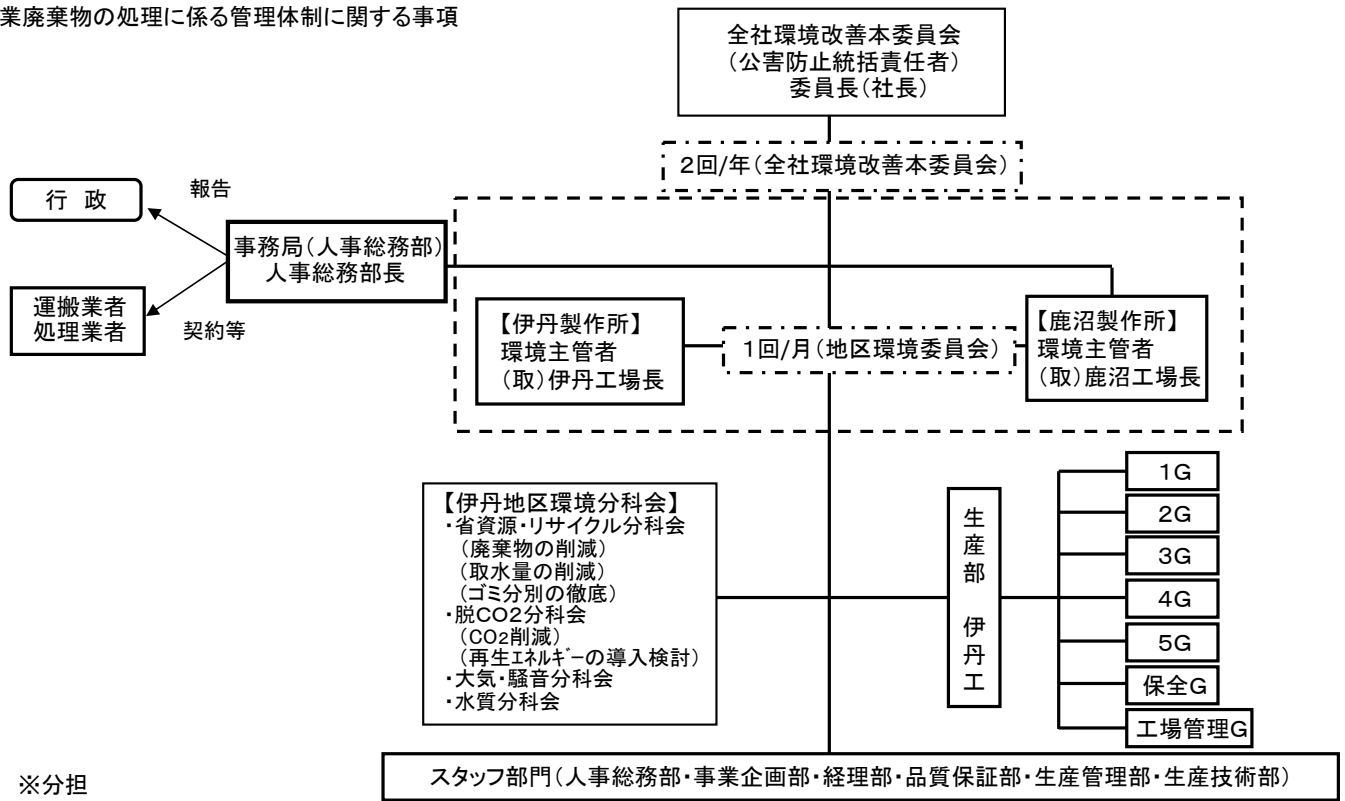
ピストン製造工程



・特別管理産業廃棄物処理責任者
 :人事総務部 安環G 松本 徳生
 ・環境保全活動推進責任者:人事総務部 安環G 松本 徳生
 ・連絡先:伊丹市昆陽北1-1-1
 ASブレーキシステムズ(株)人事総務部
 TEL:072-771-2400

	収集運搬業者	中間処理業者	処理方法	最終処分
廃酸 (ピストン)	松田産業(株)	日本エコロジー(株)	中和	埋立 大阪湾広域臨海環境整備センター (フェニックス)
廃酸	(株)アイザック・トランスポート	(株)アイザック	中和	埋立【(株)アイザックオール】
廃アルカリ	(株)アイザック・トランスポート	(株)アイザック	中和	埋立【(株)アイザックオール】
廃油	(株)アイザック・トランスポート	(株)アイザック	中和	埋立【(株)アイザックオール】
汚泥	(株)アイザック・トランスポート	(株)アイザック	コンクリート 固化・中和	埋立【(株)アイザックオール】
廃石綿	興隆産業(株)	共英製鋼(株)	溶融	なし

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項



※分担

・事務局(担当: 人事総務部安環G)

- ・環境ISOに基づく目的・目標(廃棄物削減等)の計画立案
- ・廃棄物処理に伴う部署間の調整、行政への報告
- ・処理業者の選定、委託契約等の手続き、引き渡し、適正処理の確認
- ・関係法令等の教育

・生産部他関係部署(担当: 全部署)

- ・部内の生産に伴う産業廃棄物(含む特別産業廃棄物)の発生量削減、分別、保管場所への運搬
- ・部署内スタッフへの分別方法等の徹底
- ・廃棄物削減、CO2削減に向けた取組の徹底